ENDO

誘導灯用吊具　取扱説明書

保管用

品　番　：　EHX1301

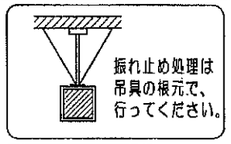
（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●吊具に衝撃を与えたり、改造したりしない。　落下の原因となります。
●傾斜天井・壁面への取付けはしない。天井取付け専用吊具です。落下の原因となります。
●適合器具以外使用しない。落下の原因となります。
（器具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。）
●開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。

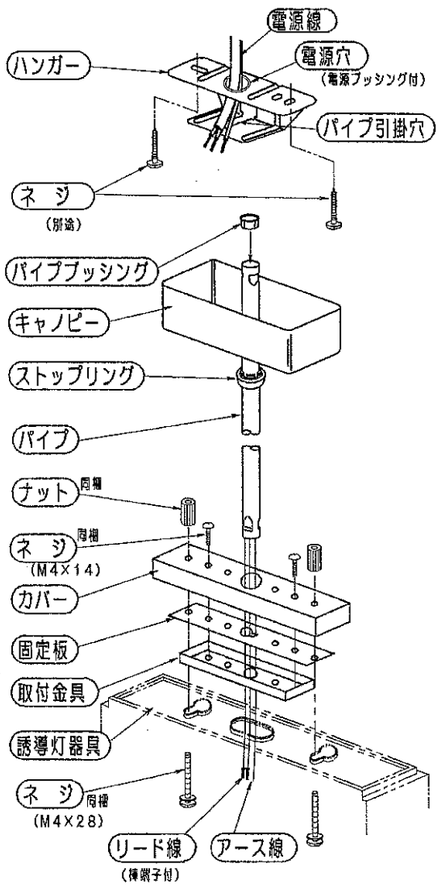


⚠注意

●この吊具は一般屋内用吊具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。　落下・感電・火災の原因となります。

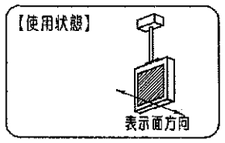
※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

各部のなまえと取付けかた



1．取付け前の確認

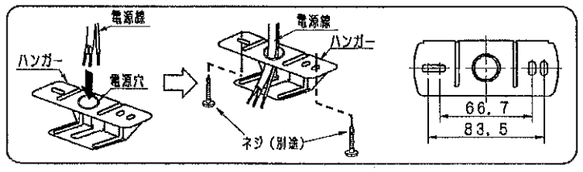
・許容荷重（15kg）に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
不備がありますと落下の原因となります。
・ネジにて取付けされる場合は、誘導灯の表示面の方向が一致しているか確認してください。



※取付後、表示面方向の回転はできません。

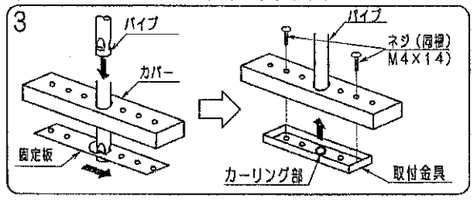
2．ハンガーを取付ける

・電源線・アース線をハンガーの中に引き込む。
・ハンガーをネジ（別途）にて確実に取付けてください。
不備がありますと器具落下の原因となります。



3．カバー・固定板・取付金具の取付

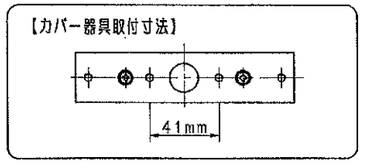
・パイプ下端よりカバーと固定板を通す。
・固定板をスライドさせ、パイプに引っ掛ける。
・取付金具を図のようにセットし、同梱のネジ（M4×14）で2ヶ所　取付ける。
（取付金具のカーリング部をパイプ穴に合わせてください。）
不備がありますと落下の原因となります。

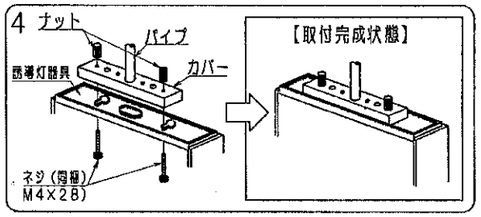


取説No．FQAP01650-T

4．誘導灯本体の取付

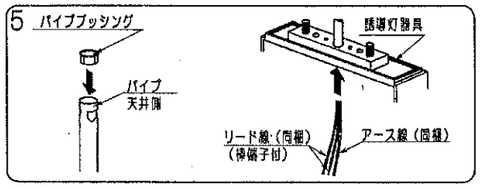
・カバーを同梱のネジ（M4×28）・ナットにて2ヶ所　誘導灯本体に取付ける。
接続が不完全な場合は火災の原因となります。
・誘導灯器具により、カバーの取付穴が違いますのでご注意ください。





5．リード線の接続

・パイプの天井側（ハンガー取付側）に同梱のパイプブッシングを取付ける。
パイプブッシングは確実に取付けてください。感電の原因となります。
・同梱のリード線の棒端子付きでない側とアース線を誘導灯器具よりパイプに通す。
・棒端子付リード線を誘導灯の端子台に接続する。
・アース線を誘導灯アース端子に接続する。
（詳細は誘導灯側の取扱説明書参照）
接続が不完全な場合は火災の原因となります。



6．パイプの取付

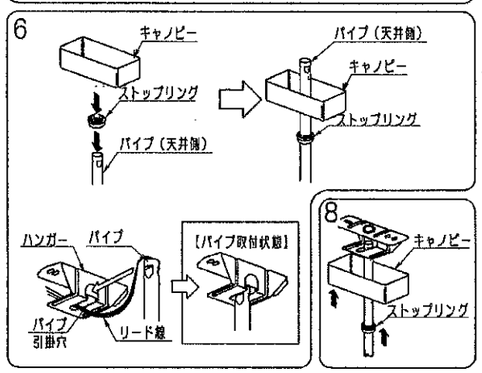
・パイプにストップリングとキャノピーを通す。
・ハンガーのパイプ引掛穴にリード線を通した後、パイプを確実に取付ける。
・パイプが抜け落ちないことを確認ください。
不備がありますと落下の原因となります。

7．電源線の接続

・電源線とリード線・アース線の絶縁処理を確実に施し接続する。
接続が不完全な場合は火災の原因となります。

8．キャノピーの固定

・ストップリングを押し上げてキャノピーを天井に密着させる。
不備がありますと落下の原因となります。



取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●吊具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●アルカリ系洗剤を使用しない。強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ

●吊具の清掃について・・　◆水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

人・光・未来形　株式会社　遠藤照明

N1109-00